

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成23年12月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士と医師事務作業補助者

高橋 勇二

浜松市リハビリテーション病院 副院長

診療情報管理士教育委員会 専門課程小委員会 委員

愛知会場 専門課程(医療管理各論Ⅰ) 講師

診療情報管理士教育委員会専門課程小委員会と医師事務作業補助者コース小委員会の両方に係わっている立場から、両者の棲み分けについて私見を述べる。

医師事務作業補助者は、平成20年度の診療報酬改定で、彗星のごとく登場した新しい職種である。ITの導入、医療の進歩と細分化、医療安全の徹底、患者の権利意識増大などの結果、書類の作成・署名など、医師の事務作業は従来に比べ倍増した。この部分を補い、医師が患者と対面する診療時間を確保することが、医師事務作業補助者の役割である。医師の秘書的な要素が強く、看護業務の補助や診療報酬算定に係わることは一応禁止されている。カルテや診断書の代行入力、検査や入院オーダーの入力、学会報告やカンファレンスの準備などを遂行するためには、診療情報の一部を的確に利用することが必要であり、診療情報の基礎知識は必須である。

一方、診療情報管理士は、診療情報を適切に作成・管理し、加工・発信する立場であるから、その基礎知識のみならず、医療統計、さらにはDPC、ICDや癌登録などの総合的な知識と技術が要求される、より専門色の濃い職種と捉えられる。歴史も約40年と古く、確固たる医療の一専門職種であることは間違いない。現在多くの医療機関では、その実力を十分発揮できる機会は多くないようであるが、昨年の第3回診療情報管理士現況調査によれば、「診療情報管理についての議論に参加する立場・権限のある者」は着実に増加しており、その責任は増している。このような実力を備えた診療情報管理士が医師事務作業の補助を行えば、かなりの部分を的確にカバーできるが、それだけでは何とも「もったいない」と思うのは私だけではあるまい。

すなわち、診療情報管理士は、医師事務作業補助者を指導・監督し、さらに、医師だけではなく、全ての医療職や医療機関そして患者さんのために実力を発揮すべきである。

診療情報とその管理の重要性をさらに世に広めるために、診療情報管理士としてスキルアップを継続して欲しいと願っている。